

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市光ヶ丘地域ふるさと協議会
日 時	令和元年8月10日（土）午後3時～4時
場 所	光ヶ丘近隣センター 多目的ホール
参加者	ふるさと協議会役員等 : 9名 地域づくり推進部長 : 1名 光ヶ丘近隣センター所長 : 1名 社会福祉協議会職員 : 2名 地域支援課職員 : 6名 地域づくりコーディネーター : 1名 合計 : 20名
次 第	別紙のとおり
意見 交換	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光ヶ丘ふるさと協議会の各取り組みとして、16町会合同の防災訓練を毎年実施しており、今年は10月27日に酒井根ふるさと協議会と合同で実施する。</li> <li>・支えあいは各町会で買物支援など行っており、今回新たに発足したものもある。子育てサロンは酒井根地域と月1回の持ち回りで行っている。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足の解消は永遠の課題。若い人は働いているから難しいが、自分の場合は親子会で狙いを定めて声をかけている。</li> <li>・役員の公募を1年に1回行っている。文言も「皆さんのこれからの第二の人生の選択肢に町会と関わってみませんか」と載せており、だいたい2、3人来る。</li> <li>・民生委員や制度ボランティア、町会、ふるさと協議会にしても組織がたくさんあって、色々関わらなければならない。それが嫌で町会役員をやりたがらない。例えば健康づくり推進委員だけみても、町会やその他色々関わらなければならない負担があることを、市はご存知だろうか。</li> <li>・こういった担い手がいない、人が選べない中で探しているがやはり厳しい。だが、イベントごとに目ぼしい人に声をかけるようにしている。そこを市は考えてもらいたい。</li> </ul>

ふるさと協議会役員

- ・お祭りを通して若い人たちに入ってもらおうように誘っている。そうして今年2名加入した。

ふるさと協議会役員

- ・中原町会は戸建てが多い。世帯加入率は比較的高めで、約1,100世帯1,080世帯の加入（加入率98%）している。
- ・班長、組長が70名ほどおり、そのうち3分の2が毎年入れ替わり、残りは2年任期としている。その他に会長指名で8名が会長の下に就く。
- ・広くみんなに経験してもらいたく、一斉に替わると町会が動かなくなる。
- ・光小学校と連携して夏祭りは1,000人ほど参加があり、今後予定しているスポーツ大会は、高齢の人たちや小学生、中堅が参加できるゲームを行なう。
- ・行事を通じて町会の良さを感じてもらい、会費の使いどころを見えるようにして参加させていく。また、その中で良いなと思う人を目を付けておいて役員改選のときに声を掛ける。
- ・役員は世代別となっており、70代、60代～…30代とそれぞれ役員がいる（会長指名）。
- ・行事などを任せることによって経験させ、その人が希望すれば継続させたり、将来的に町会長にもなるかもしれないこともあるので、何かの機会につけて良いなと思える人は、目をつけて声をかける。
- ・町会長は民生委員や選挙立会いなどいろんな依頼が来る。向いてそうな人を選んだり、幅広く町会に参加する機会をつくったりと、探す努力をしている。
- ・いまボランティアでやってくれることも難しいので、最低限交通費などの活動資金は出すようにしている。

ふるさと協議会役員

- ・活動をしてくれたら役務費として、1,000円出すようにしている。報酬を出すことや良い雰囲気をつくることはまさに言わずもがなだと思う。
- ・町会だけでなく、ふるさと協議会の役員や地区社協の役員になっていたり、役員の負担を減らすということは中々難しい。

ふるさと協議会役員

- ・役員になってもらうのは大変であり，町会活動がいかに関心をもつてもらうのか，人間関係を深くしないと，役員のお願いはできない。また，日頃の活動にどれだけ関心をもつてもらうかが大事。

ふるさと協議会役員

- ・南光ヶ丘，光ヶ丘社協もそれぞれ50～60人の役員，ふるさと協議会も60人の役員がいたり，分散化はしているが，行事が多く大変（活発という見方もできる）。

ふるさと協議会役員

- ・民生委員や青少年相談員など，小中学生の保護者がいるが，子育てをしながら活動している。
- ・高齢者が多い中で40～50代の方が，子育てに余裕が出てきたあたりで民生委員や健康づくり推進委員になってくれると良いと思う。
- ・自分自身，子ども会から青少年相談員，補導員を経て，そろそろいいかなと思った頃に，地区社協から声をかけられ続けてきた。それは，自然にやってみたくなるような雰囲気があったからである。
- ・健康づくり推進委員を1期3年で辞めてしまうのがもったいない。民生委員は長く続ける方が多く，人間関係も良くなり楽しんでいる人もいる。

ふるさと協議会役員

- ・民生委員（国）と健康づくり推進委員（柏市）は報酬（民生委員は実費弁償）に差があるが，内容は健康づくり推進委員が大変なこともあるので，そこを変えていかないといけない。

ふるさと協議会役員

- ・民生委員と健康づくり推進委員は，国と柏市の違いはあるかもしれないが，こちらから言えば，両者とも市から依頼が来て町会長が任命するのに，なぜそこまで金額に差ができるのかが納得ができない。

ふるさと協議会役員

- ・単純に仕事内容が違うから比較はできない。ボランティアでも多少でも報酬を出してあげないといけないと思う。
- ・ふるさと協議会の補助金90万円のうち10%までは、活動費・報酬として支払って良いと要綱に明記されているとやりやすい。
- ・ベテランの町会長は運営の仕方、人の使い方を良く知っている。町会長は努力が必要だが、やりやすい雰囲気をつくるようなことを教えていくことは各町会・ふるさと協議会のレベルが上がると思う。

ふるさと協議会役員

- ・民生委員は、定例会があり、そこに1回でも出ないとわからなくなってしまう。行事が多いのは、本来の仕事ではない附属の仕事が多いからである。
- ・民生委員を選ぶにも経済的に余裕があって、時間的余裕があるのかどうか把握した上で候補者に当たらないといけない。

ふるさと協議会役員

- ・仲間づくりという点で、近隣でゴミ出しのときに挨拶をするうちに、役員を引き受けてくれた。地域を狭めたコンパクトな班から一本釣りができた。

ふるさと協議会役員

- ・声かけは大事にしていきたい。

ふるさと協議会役員

- ・防犯防災の相談をされたとき、民生委員に困っている人がいると連絡してあげている。支えあいは、地域の横のつながりとして、ちょっとした雑談をしたりしている。子育てに関しても、困っていたら民生委員に相談したらどうかと促したりしている。

ふるさと協議会役員

- ・光ヶ丘地区社協部には「虹のひろば」という多世代型サロン（光ヶ丘小）がある。民生委員の有志で集まって、そのボランティアを自分達も楽しみながら、地域の子どもを育てようということをしている。これからはボランティアが楽しみながら地域の役に立つとい

	う点が大事だと思う。
<p>いただいたご意見のまとめ</p>	<p>(地域の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手不足については、日々の活動の中で声を掛けていく。色々な方と会う機会、参加できるような機会をつくり、見つけていくことが必要と伺った。</li> <li>・ こども会など若い団体から参加をして、色々な役員を経験しながら関わり続けていくことが大事と伺った。</li> <li>・ 報酬を出すことは手段の一つとして必要。例として民生委員と健康づくり推進委員の金額の格差が、活動に少し影響するという御意見があった。</li> </ul> <p>(柏市職員の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光ヶ丘の地域が地域活動をやってみようと思う雰囲気をつくってくれていると感じた。</li> <li>・ 報酬を出すかどうかは地域の判断による。その中で、出せるような基準や制度を作りたいということは、研究事項として認識している。</li> </ul>